

KYOUSEI DAYORI

-きょうせいだより-

第33号 令和6年10月

CONTENTS

- ・第39回九州矯正展
@グランメッセ熊本
- ・インタビュー
中津少年学院 点字翻訳指導講師
- ・検証！高齢者犯罪を知る
- ・あなたの街の矯正施設③
大分少年院



矯正を知ろう！再犯防止をもっと身近に！

きょうせいだよりってなに？

本誌は、地方公共団体や民間団体の皆さまに、法務省の再犯防止の取組や矯正施設のことなどを知ってもらいたいという思いを込めて配信するお便りです。日々の業務の合間に手に取ってご覧いただき、私たち矯正のことを少しでも身近な存在として感じていただければ幸いです。



第39回九州矯正展が

グランメッセ熊本において開催されました！



本年9月21日(土)・22日(日)、グランメッセ熊本において、熊本刑務所主催の第39回九州矯正展が開催されました。

「矯正展」とは、「社会を明るくする運動」の一環として、再犯防止に向けた矯正施設の取組等の紹介や、全国の刑務所で受刑者が、改善更生や社会復帰を目指して製作した製品の展示販売を通じて、矯正行政の現状について、皆さまに広く知っていただくことを目的として実施されている催しです。

両日とも、あいにくの天気であったにもかかわらず、大勢の方々に御来場いただき、大盛況となりました。

会場には、更生支援企画課のブースも設置され、当課の再犯防止啓発グッズであるうちわやクリアファイルの配布などの広報活動を行ったほか、再犯防止に係る意識調査のため、御来場いただいた方々にアンケートを実施させていただきました。

また、熊本県出身のお笑いタレントであるゴリけんさんのトークイベントや、農福連携に取り組む事業所で作っている餃子の販売などもあり、大変活気にあふれた矯正展となりました。

今年度は、九州各県の刑務所において矯正展が開催されますので、御都合がよろしければ、是非、最寄り施設の矯正展に足を運んでいただけたらと思います。

九州各県の矯正展の予定は、
福岡矯正管区フロントページに掲載中！



福岡矯正管区フロントページ▲

(https://www.moj.go.jp/kyousei1/kyousei08_00110)





(少年が作成した点字絵本)

interview

おぐり おつよ
小栗 睦津世さん
— 中津少年学院 点字翻訳指導講師 —

点字翻訳とは

点字翻訳とは、一般文字（墨字）を点字（縦3点、横2点の6点を組み合わせた視覚障がいのある方が用いる文字）に翻訳することです。点訳作業は、点字を熟知した人でなければできず、一文字ずつの翻訳なので、時間が非常にかかるものです。点字に関する知識と技術を持った方を点字のスペシャリストとして、厚生労働省が認定する「点字技能師」という資格があります。

中津少年学院

中津少年学院は大分県中津市にある少年院です。「支援教育課程」の指定を受け、知的障がい、情緒障がい、発達障がいなどの発達上の課題を有した少年を収容しています。

中津少年学院では、平成14年から、外部講師による点字翻訳指導を行っています。点字翻訳指導を受けた少年が作成した点字絵本などの点訳本は、中津市内の図書館に寄贈しています。

今回は、中津少年学院で点字

翻訳指導を始められた小栗睦津世さんにお話を伺ってききました。

点字翻訳指導者の声

磯（当課課長）…小栗先生が中津少年学院で指導を始めることになったきっかけについて教えてください。

小栗…当時勤めていた会社を退職し、友人がボランティアグループの方たちと立ち上げたサロンを手伝うことになりました。た。その中で、御縁があり、中津少年学院に伺ったところ、当時の次長に「点字翻訳を教えてください。いただきたい少年がいるのですが、教えてもらえませんか。」と依頼されたのが始まりです。



初めて担当した子は、本当に繊細で、ガラス細工のような子でした。自分が犯した罪の重さに塞ぎ込み、週に一度の二時間の授業でも、下を向いたままで一言もしゃべりませんでした。それでも、彼が顔を上げるまでと私はひたすら自分のことを話しました。そんな形で点字指導を続けて半年ほどした頃、ようやく顔を上げ、返事をしてくれるようになりました。そして、何かの弾みでふと笑ってくれたとき、もう大丈夫だと思えました。

彼は、自動車整備士になるという夢を持ち、ガソリンスタンドで働きながら高校に行くという向きの気持ちで出院していきました。ですが、その一年後、母親から、彼が自ら命を絶ったという連絡がありました。彼が書きつづっていた五冊のノートには、「ごめんなさい」、「死にたくない」と書きながら書いていました。あんなに前向きになっていたのに、どうして死んでしまったのか、何か助ける方法がなかったのかと今でも考えます。何もしてあげられなかったという後悔がいつまでも心の中

に残っており、今まで続けてこられたと思っております。

磯…初めて担当した子のことがあって、今までやってこられたんですね。

では、中津少年学院で指導を始められて、少年院のイメージに変化はありましたか。

小栗…少年院は悪いことした子が行くんだなーと思っていたくらいで、こういう少年院があることは中津少年学院に来て初めて知りました。この子はみんな素直だから、本当の悪はいないんじゃないかなと思います。そそのかされて罪を犯したとか。

磯…中津少年学院での指導の中で、どんな時に難しさや苦勞を感じますか。

小栗…どうしても一人向き合えない子がいたんです。何でこんなに苦手なんだろうと考えてみると、私はその子の言葉遣いが苦手なんだと気付きました。なんでそんな言葉遣いなんだろうと思っていたら、その子が「先生と話すが、人と初めてのおしゃべり」と教えてくれたんです。だからか、と思いました。

「ずーっと笑ってくれなかった子がふと笑ってくれたときに、もう大丈夫って思える。」



▲ 少年が取り組む練習問題

私は点字翻訳指導の対象の子に本を貸して、その本の感想を聞かせてもらっています。が、その子も感想が言えるようになり、だんだんと自分の意見も言えるようになりました。

磯…刑務所や少年院などの中には、様々な困難やハンディを抱えてきた人、社会から孤立してきた人たちがいます。小栗先生は、そうした人たちの立ち直りには、どのような支援が必要だと考えますか。

小栗…黙って寄り添って話を聞いてくれる人だと思っています。人って変われる。でもひどい環境の子が多い。点字翻訳指導の中で、翻訳する絵本を本人に選んでもらうんですが、「絵本」という言葉を知らない子もいたんです。親から絵本を読んでもらった経験

がなかった。彼らがどんな所に帰っていくのか分かりませんが、**少年院を出てすぐの大事な時期に、誰かそばにいて、話を聞いて、寄り添ってくれたらいいと思います。**

今まで約二十人の子を担当してきました。一人目の子の時、理解ある方の協力を得て、制作した点字図書を図書館に寄贈できるようにしました。図書の贈呈式の時には必ず視覚障がいがある方も同席してもらっています。自分が点字翻訳した本をその方が読む様子を見ることで、人の役に立っているということを感じてもらいたいからです。贈呈式の新聞記事は切り取って出陣の時に渡してもらうようにしています。**目に見える形で残すことで、自信につながると思うからです。**記事を見た子の中には、「悪いことで新聞載ったことはあるけど、いいこととして新聞載ったことはない」と話す子もいました。**磯**…障がいがある方と関わる中で、意識していることはありますか。

小栗…特にありません。それ

が本人の魅力になればいいと思っているのです、他の人と同じように接しています。

行動障がいがある多動の子を担当したとき、その子は「先生は分かんことを分かるまで教えてくれるから楽しい。」と話していました。学校の授業では、分からなくても進んでいってしまうから、だから席を立つ。そうすると、注意を受けて、教室からも出されてしまう、という状態だったそうです。点字翻訳は文法をしっかりと学ぶ必要がありますが、この子にできるかなと思うような子でも、勉強を続けると、最終的に五冊にわたる小説を翻訳する子もいます。**障がいがあるからできないと決めつけず、なんでその子がそうするのかを考える必要があるのだと思います。**





(出典：令和5年版犯罪白書)

図1 刑法犯 高齢者の検挙人員の罪名別構成比

(令和4年)



- 注1 警察庁の統計による。
 2 犯行時の年齢による。
 3 「横領」は遺失物等横領を含む。
 4 () 内は、人員である。

図1は令和4年における高齢者(65歳以上)の刑法犯検挙人員の罪名別構成比を男女別に見たものです。全年齢層と比べて、高齢者は窃盗の構成比が高く、特に、**女性高齢者は、約9割が窃盗であり、そのうち万引きによるものの構成比が約8割と顕著に高いこと**が分かります。

高齢者に多い犯罪

図2 入所受刑者の人員(年齢層別)・高齢者率の推移(総数・女性別)

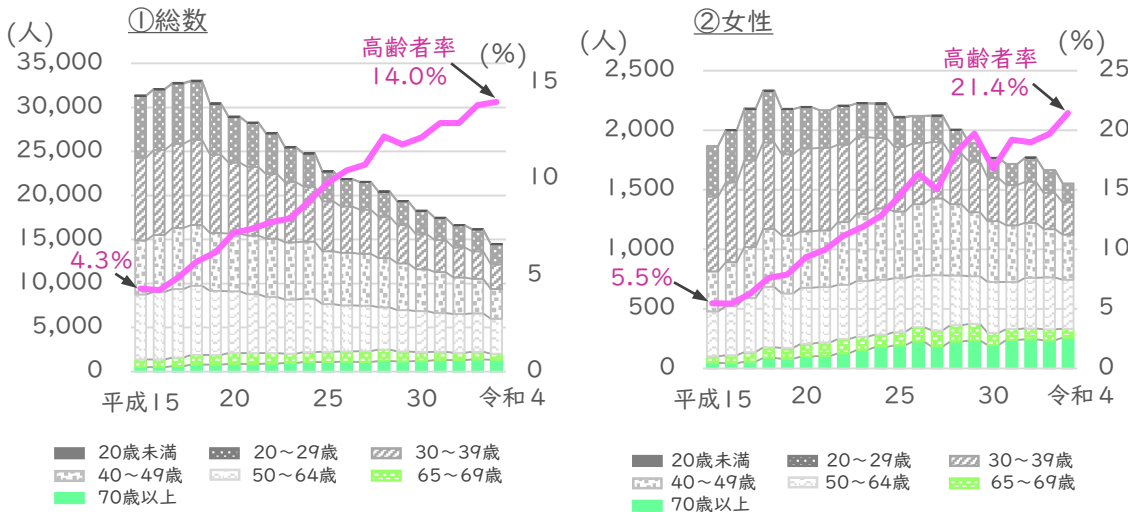


図2は、年齢層別の入所受刑者人員及び高齢者率(入所受刑者に占める高齢者の比率)の推移を見たものです。高齢入所受刑者の人員は、令和4年

高齢入所受刑者の人員の推移

平成30年度から、各矯正管区の基幹施設(札幌刑務所、宮城刑務所、府中刑務所、名古屋刑務所、大阪刑務所、広島刑務所、高松刑務所及び福岡刑務所)において、入所受刑者のうち、入所時の年齢が60歳以上の者などに対して、認知症スクリーニング検査を実施し、認知症が疑われると判定された受刑者に対して、医師による診察を実施する取組を行っています。令和元年から実施対象施設に栃木刑務所と和歌山刑務所が追加され、令和4年においては、744人に対して検査を実施し、そのうち、医師による診察を受けた者が145人、認知症と診断された者が28人でした。

刑務所における認知症スクリーニング

は2,025人で、平成15年と比べると約1.5倍でした。**70歳以上に限ると平成15年と比べて約2.8倍と増加が顕著です。**
 女性の高齢入所受刑者の人員については、令和4年は333人で、平成15年と比べると約3.3倍でした。**70歳以上に限ると、平成20年以降に大きく増加し、令和4年は平成元年以降最大の256人となり、平成15年の約5.4倍でした。**

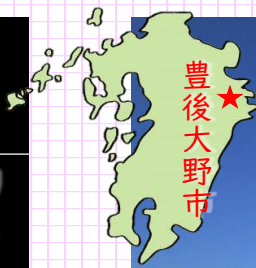
質問やご意見、取り上げてほしい事項などありましたら、当課までお気軽にご連絡ください。

お問合せ先

福岡矯正管区 更生支援企画課 福岡市東区若宮5丁目3番53号
 TEL:092-661-1143(直通) FAX:092-663-1001
 MAIL:1.fukuokakyousei.9jf@i.moj.go.jp



大分少年院



所在地：大分県豊後大野市



あなたの街の
矯正
施設
Vol.13

POINT

今後は特別支援教育に準じた教育が必要であると考
えており、既存の教育に加
え、ラップやダンス、ビ
ジョントレーニング、剣道
型の披露などを試行してい
ます。また、資格取得にお
いても、ドローンライセン
ス取得を新たに試行してお
り、就労につなげることを
考えています。さらに、行
事等にお
いて少年
たちに多
数の役割
を任せ、
主体的に
動けるよ
うスキル
を高めよ
うとして
います。



剣道型▲

被害者と
加害者の対
話を通して
回復を目指
す修復的正
義という考
え方があり
ます。当院
ではこの修
復的正義を
意識し、前
述のラップ
やダンスで
の自己表現
や行事の余
興を考える
こと、行事
での司会、
来賓対応な
どを通して
多様な表現
、適切な表
現ができる
ようアプ
ローチして
います。ま
た、毎年行
われている
少年院映
像表現コン
クールでは
、在院者が
監督、出演
をこなしま
すが、知的
障害がある
少年に自
分の思いを
込めた歌詞
を作成して
もらったり
しました。



▲ダンス場面

ベンチャーであること

今後を見据えて

当院は、昭和28年に地元三重町の誘致を受け、特別少年院として設立し、以降、地域とともに歩んできました。施設参観や各種行事に地域の多くの方々が参加されており、ともに活動しています。

在院者については、当院入院前に別の少年院を経験した者が半数に上り（令和5年）、成人に近い年齢の者が多いことから、再非行防止に向け、本人の問題性の把握や改善更生への取組、帰住調整等の社会復帰支援に力を入れています。

※特別少年院：心身に著しい故障はないが、犯罪的傾向の進んだおおむね16歳以上23歳未満の者を収容する少年院。新少年院法（平成27年施行）により、現在は第2種少年院という。

非行性の進んだ少年を収容する 最後の砦

VOICE

現場職員の声

— 支援主任 —

少年・引受人・雇用主に愛される少年院

苦しんでいる人、
疲れている人、
悩んでいる人がいる、
だから大分少年院がある。

うちの少年たちは
生きづらさを抱えた
人ばかりです。引受
人の御苦労も想像に
難くありません。そ
んな少年たちの改善
更生と社会復帰を目指して、うちのスタッ
フは、少年たちと誠実に向き合い、少年た
ち自ら変わるのを手助けします。また、出
院した少年たちと面談したり、電話相談を
受けたりして、出院後のケアもしています。
印象に残っているのが、当院にて療育手
帳を取得した少年です。それまでグレー
ゾーンであったため適切な支援もなく、児
童養護施設を出た後は不良交友関係しかあ
りませんでした。地元での事件が大きく報
道され、地元へ帰住できない状況であり、
他に頼るところもありませんでした。保護
観察所を始め、地域生活定着支援センター、
自立準備ホーム、保護司会、協力雇用主会
などから御助力をいただき、今では無事に
社会で生活し続けています。自立準備ホー
ムのホーム長や協力雇用主、保護司を中心
に少年を指導していただくとともに、私た
ちも定期的に少年の居住地を訪問し、面接
をしています。

皆さま、再非行防止を目指して一緒に少
年たちを育てていきませんか。

